

## JEP工法 (三重管式大口径高圧噴射攪拌)

NETIS登録番号：(旧) SK-100012-VE

## JEP工法協会

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35 ライト工業株内

TEL 03-3265-2589 FAX 03-3265-3402

URL <https://www.raito.co.jp/project/doboku/jiban/kouatsu/jep.html> mail [infoeigy@raito.co.jp](mailto:infoeigy@raito.co.jp)

[資料請求先] ライト工業株内 都市技術部 (TEL.03-3265-2456)

[正会員(3社)] 小野田ケミコ(株)、東興ジオテック(株)、ライト工業(株)

[賛助会員(6社)] (株)アウラ・シー・イー、(株)アクアガード、東成産業(株)、(株)ニチワ、(株)林六、ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)



超高圧噴射 (吐出出力40MPa)



改良体出来形状況

### 概要

本工法は、上段・下段の二段ジェットにて構成しており、上段のガイド切削、および下段の超高圧噴射を使用して大口径の改良体を造成する、固結工（高圧噴射攪拌工）の工法である。

- ・改良範囲が比較的大規模（ $V = 1000\text{m}^3$ 以上）である場合
- ・改良長 / 削孔長の比率が小さい場合

### 特長

#### 1. 大口径

専用の噴射装置および大容量の硬化材噴射（300L/分）により、大口径の改良体が造成可能である。（最大 $\phi 4.0\text{m}$ ）

#### 2. 低コスト・工期縮減

大口径の改良体が造成可能であるため、施工本数が縮減し、コスト・工期の縮減が可能である。

#### 3. 変位影響の低減

三重管システムの適用により、施工時の変位影響を低減することが可能である。

### 用途

- ・立坑および開削底盤の支持力増強、止水強化、ヒービング防止等
- ・土留め欠損部（特に欠損幅が大きい場合）
- ・既設杭等の支持力増強、耐震補強
- ・液状化防止

### 工法の適用範囲

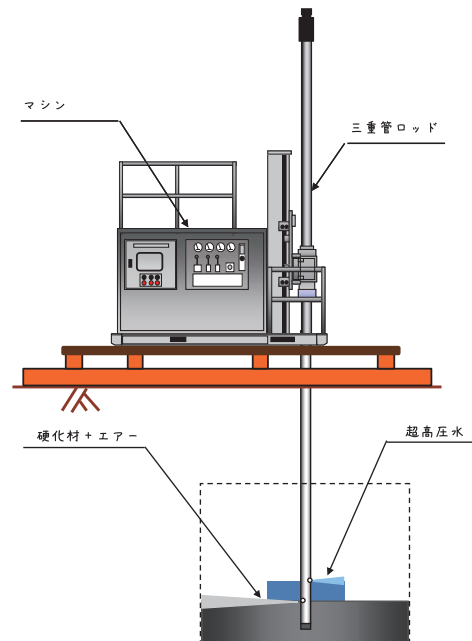
#### 1. 適用可能な範囲

- ・標準施工深度 = 30m（ガイド削孔を併用することにより上記以深の施工も可能）
- ・未固結の砂質土、粘性土、礫質土

#### 2. 特に効果の高い適用範囲

- ・欠損幅が長い（ $t = 2\text{m}$ を超える）場合

#### 工法概要図



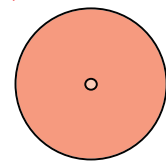
#### 改良体の比較

$\phi 2.0\text{m}$  (3.14 $\text{m}^2$ )

$\phi 4.0\text{m}$  (12.56 $\text{m}^2$ )



従来工法



JEP工法

【工法特許】特許第4003944号「地盤内流体噴射装置」